



令和3(2021)年度学術変革領域研究(A)

2.5次元物質科学：
社会変革に向けた物質科学のパラダイムシフト2022年 イベントレポート
(サイトビジット／若手交流会)

サイトビジット

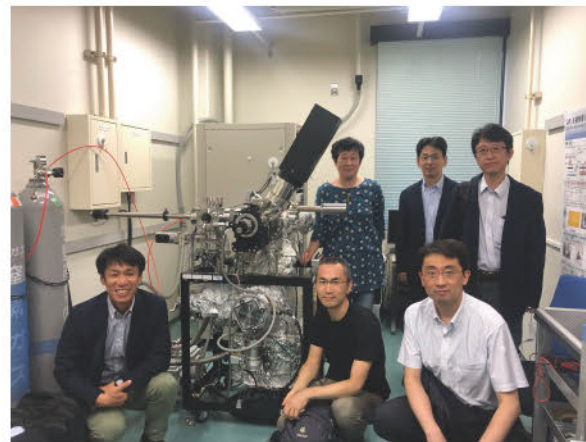
北陸先端科学技術大学院大学 (JAIST)
(石川県能美市)

2022年6月6～7日の2日間にわたり、領域内の連携及び共同研究の促進のため、本領域の構造解析の共同利用拠点でもある北陸先端科学技術大学院大学 (JAIST) にて、領域内サイトビジットが開催されました。第1回となる今回は、領域代表の吾郷を含め6名が参加しました。

施設見学から始まり、実際に2021年度に導入されたTEM用の通電2軸大気非曝露ホルダーと収差補正TEMを使用して、シリコンチップに転写した2.5次元物質の様々なモアレ構造を観察する様子を見学しました。参加者からは「可能性が広がりそう」との声が聞かれました。

その他、高村研のフロランス講師による超高真空走査プローブ顕微鏡を用いたシリセンなどの研究紹介や、グラフェンのNEMSデバイスで有名な水田研究室を訪問し、研究員の方々が、「最新のグラフェンセンサやNEMSデバイスの研究成果」を紹介してくださいました。

また、共同利用拠点の利用に関する議論や、領域運営に関する意見交換会が行われ、今後の共同研究につながる交流の場となりました。



サイトビジット参加者集合写真



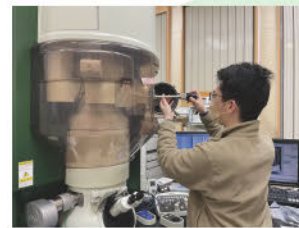
北陸先端科学技術大学院大学 (JAIST)

JAIST所属 高村からのコメント

「今回のサイトビジットにより、新たな共同研究が何件も始まりました。今回訪問されなかった皆様も、お時間のある時にぜひお立ち寄りください」

あいにくの天気でしたが、領域内共同研究や共同利用拠点の利用に一段と弾みがつく、有意義な時間となりました。

今後も積極的に効果的な共同研究のために、各所にてサイトビジットの開催を検討しています。領域メンバーの皆さんは共同利用拠点を積極的にご活用ください。

通電2軸大気非曝露ホルダー
などの主要設備

若手交流会

名古屋大学ベンチャー・ビジネス・ラボラトリー (VBL)
(愛知県名古屋市)

2022年6月17日、本領域による第1回若手交流会が名古屋大学ベンチャー・ビジネス・ラボラトリー (VBL) にて開催されました。今回は若手研究者・学生の研究交流や友好を深めることを目的として、全国から26名の若手研究者と学生が参加しました。

まず始めに各自スライドを作成し、自己紹介や研究内容の紹介をして参加者同士お互いを知るきっかけを作りました。その後、フリーディスカッションや共同研究相談の時間が設けられ、同世代の研究者間で積極的な情報交換が行われました。日頃、全国各地の大学や研究機関で研究に励む若手研究者にとって、自らの研究の相談や

悩みを打ち明けたり、互いの研究室の自慢をしたり、と、研究者の接点となる貴重な機会になったと思います。

また、A04班蒲江が所属する竹延研究室と、A05班大野の研究室のラボツアーも行い、参加者は真剣に耳を傾けていました。対面での交流は、若手研究者による新たな共同研究の芽となる貴重な時間となりました。

今後も若手研究者が活躍していけるような機会の提供を予定しています。若手研究者の皆さんは奮ってご参加下さい。皆さんの研究活動の活性化と継続的な交流を願っています。



若手交流会参加者集合写真



参加した学生さんからのコメント

「年齢の近い学生が多かったため気軽に研究についてのディスカッションができ、共同研究をしたいなどの話も上がるなど、刺激的な時間を過ごすことができました。また、修士、博士学生関係なく、今後の研究もお互い頑張っていこうと支えあえる友人ができたため、非常に貴重な機会になりました。」

「若手交流会は、今後の2次元材料開発を担う若手同士で技術・情報交換できる点において、大変貴重で魅力的な会だと感じています。また、学会のような堅苦しさはなく、年齢の近い学生や先生方とフランクに交流することができました。特に、研究室に帰ってからも、研究の相談ができる関係性が構築できたことは、今後の研究にとって有意義なものとなりそうです。」

若手会担当 宮田からのコメント

「当初の予想以上に多くの学生や若手研究者の方々に集まってくれ、楽しい交流会を開催することができました。改めて研究活動における、対面での交流の重要性を感じています。継続して交流会を開催し、領域の活性化に貢献できればと思います。」



領域事務局

工藤 朋子
中村 奈津子領域ホームページ <https://25d-materials.jp>
(ニュースレター公開日: 2023年 1月19日)